

宝木だより

防災特集号

第16号

発行 宝木地域づくり推進協議会

(宝木地域コミュニティセンター内)

TEL・FAX 028-624-0531

(題字 北條信男氏 書)



災害に備えて

宝木地区防災訓練

十一月八日宝木小学校において消防署、消防団等の協力を得て宝木地区自治会連合会（10自治会）の防災訓練を行いました。本年度は、宝木地区防災会（自治会連合会長兼務）の組織を改編充実しての初めての訓練で、特に防災要員の方に新調した制帽を着用していただき、誰もが凜々しい態度で訓練が行われました。十一月とはいへ小春日和の暖かな天候にも恵まれ、参加者も過去最高の三五〇名を超えました。

訓練は、震度6の地震の発生を想定したもので、参加者を避難者に見立てて自治会や参加団体ごとの受付をして、仮想負傷者、高齢者把握の訓練をしました。体育館では、消防署員からAED取り扱い、三角布による応急手当、物干竿と毛布による応急担架の作り方と搬送訓練などの指導を受けました。

その後体育館から誘導されて校庭に集まり、バケツリレーの初期消火、資機材の使用、土のう造り、はしご車による校舎屋上からの救出訓練、消防分団による迫力のある放水実技を見学、正午には婦人防火クラブによる焼き出しの力レーを食して訓練は無事終了しました。



バケツリレー消火訓練



機材の使用訓練



参加者集合



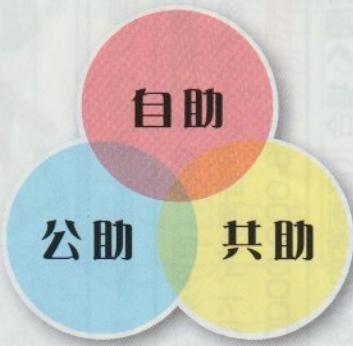
二月一日宝木コムセンにおいて、消防署員による負傷時の応急処置等について熱心に耳を傾け実技を体験しました。

**婦人防火クラブ
防災教室開催**



吹き出し訓練

自分と家族を守る防災



防災・減災の3原則

「自助」とは、自分と家族の安全は自分で守るということです。日頃から災害に備えたり、災害時には自分たちで避難する等自分自身で守ることを言います。



「公助」とは、地域・近隣の方と協力し、支え助け合って解決しようというものであります。

「災害時には、自助・共助支援のことを言います。災害時には、自助・共助・公助が必要ですが、何と言つても自分の身は自分で守るという自助が大切です。

地震・台風などの災害は、これを止めることも、防止することもできません。ただ、災害を正しく理解し・認識して、これらの対策を講ずることによって、災害から被害を少なくし、命を守ることができます。

防災家族会議を

地震による人的被害は、家具などの転倒、落下物による負傷がほとんどです。いつでもどこでできるこの訓練は、地震が発生した際、瞬時に身を守る行動ができるようになります。地震を想定し、日ごろから次の三つの安全行動を3分間行ってください。（揺れが3分続くという想定です。）

安全行動1・2・3 地震から身を守る

① 姿勢を低く！（しゃがむ）
② 体・頭を守って！（隠れる）
③ 待つ！（そのまま揺れが収まるのを待つ）



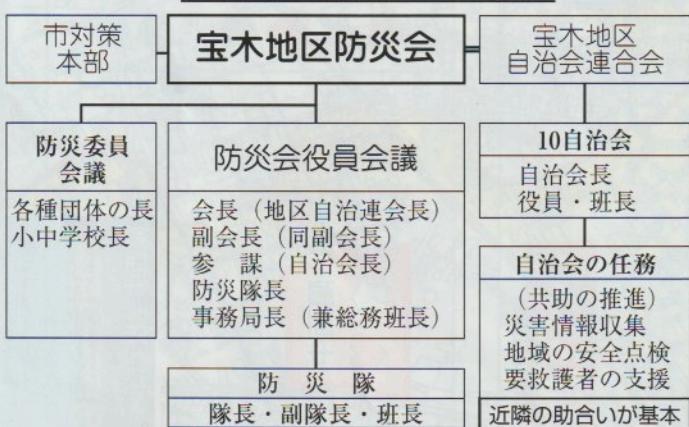
充実しました 防災組織を

災害時に迅速に確実に行動できるようになります。宝木地区防災会（会長は地区自治会連合会長）を自治会に身を守る行動ができるようになります。地震を想定し、日ごろから次の三つの安全行動を3分間行ってください。（揺れが3分続くという想定です。）

災害時に迅速に確実に行動できるようになります。宝木地区防災会（会長は地区自治会連合会長）を自治会に身を守る行動ができるようになります。地震を想定し、日ごろから次の三つの安全行動を3分間行ってください。（揺れが3分続くという想定です。）

災害時に迅速に確実に行動できるようになります。宝木地区防災会（会長は地区自治会連合会長）を自治会に身を守る行動ができるようになります。地震を想定し、日ごろから次の三つの安全行動を3分間行ってください。（揺れが3分続くという想定です。）

「宝木地区防災会」の組織



編集後記

ここ数年、地震、大雨、竜巻、台風など正に想定外と言われる災害が発生しております。そこで本号は、防災特集として防災訓練や、自分・家族を守る防災について掲載しました。裏面は、防災地図を掲載しました。なお、次号から、六月と七月に発行することにいたしまして、保存掲示するなど活用いただければ幸甚です。

なお、次号から、六月と七月に発行することにいたしまして、保存掲示するなど活用いただければ幸甚です。